

「全鍍連」 2017年 11月号 いきいき地域

長野県鍍金工業組合 山下 政隆 (株)駒ヶ根電化 代表取締役)

「アルプスがふたつ映えるまち駒ヶ根」



長野県鍍金工業組合の山下と申します。当社の所在地であり、生まれ育った駒ヶ根市の魅力を宣伝できる機会をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

長野県南部、諏訪湖から流れ出る天竜川の流れて沿って南北に広がる伊那谷に位置し、その伊那谷のほぼ中央に位置する駒ヶ根市は、東に南アルプス(赤石山脈)、西に中央アルプス(木曾山脈)の3千メートル級の山々を、町から望むことができます。温暖な気候に生まれ、まちの人はおおらかな人柄が多く、「駒ヶ根」という名前は、木曾駒ヶ岳の麓のまちという意味で、昭和29年の市政施行時に命名されました。

駒ヶ根の一番の観光スポットとして名高いのは「千畳敷カール」です。駒ヶ根高原から登山バスとロープウェイを乗継ぐことで、標高2,612mにある標高日本一の駅「千畳敷駅」へと一気に登ることができます。登山バスとロープウェイは、通年を通して運行しているので、春夏秋冬と違った顔の千畳敷を楽しむことができ、多くの観光客で賑わっています。その出発点である駒ヶ根高原は、中央道駒ヶ根I.Cから車で5分程とアクセスがよく、霊犬早太郎伝説で有名な「光前寺」や駒ヶ池など見どころもたくさんあります。また、全国のクラフトマンが集まる「くらふていあ杜の市」も毎年開催され、人気を集めています。

更に南北を走る中央自動車道の全線開通により、関東および中京・近畿圏への広域交通条件が向上し、電機精密系の工場が多く立地し、近年では食品製造業などの企業の進出も多くなりました。今後リニア中央新幹線の駅が近郊に設置されることも決定し、益々発展が期待されるまちとなっています。

又、このまちは国際意識が高いというのも特色のひとつです。全国に2カ所しかない青年海外協力隊(JICA)の訓練所を通じて市民の国際意識はかなり高く、特色ある国際化のまちづくりをいろいろなイベントを通じて進めています。

「アルプスが二つ映えるまち駒ヶ根」いかがだったでしょうか？名物ソースカツ丼も是非ご賞味いただきたいと思います。お待ちしております。